

2009～2010

# 地球に愛をこめて

草の根運動から大きな夢の実現に向けて

セントルシアの小学校にて 情操教育のサポート



カリブ海 セントルシア カストリーゼの港

We love “service for peace” ～平和の為の奉仕～

ハイチ



チリ



台湾



続けざまに震災が起こっています。地球からのメッセージではないでしょうか…

## 国内外での活動報告

- 2009年10月14日～ 海洋博覧会開催地 韓国、麗水(ヨス)視察
- 11月 4日 延寿会参加 「地球に愛をこめて」の活動
- 12月26日 チャリティーイベント開催 (マザー・テレサの映画上映 ボランティア活動報告)
- 2010年 1月18日～ セントルシア訪問 (ハイチ大地震支援のための活動など)

## セントルシアでとりくんだハイチ大地震支援

### ●セントルシアに向かう前に

今回は、いよいよセントルシアへの出発が近付き準備も整ってきた、というところに、ハイチ大地震が起きました。そのような状況にあったので、行く前からセントルシアでハイチの為に何か出来ないかと考えさせられていました。セントルシアを支援するのはもちろんですが、より困難に直面している人々を助ける必要もあります。そういった啓蒙に努めることは、セントルシアの人々に対しても大切なことではないでしょうか。

さて、セントルシアに着いて話を伺ってみると、政府としては震災後すぐに救助隊や現地のパトア語の通訳を派遣するという支援をおこなっていました。しかし、セントルシア自体も貧しい国であるために、それ以上のこと、つまり経済的な支援までは難しいと考えていました。

確かにセントルシアという国の事情を考えれば経済支援が難しいのは当然のこととも言えます。しかし、私は他にも出来ることはあると考えました。というのは、アフガン難民キャンプを訪れた時の経験から考えて、避難民の方々には物資による支援だけでなく、何か希望を与えるような活動が必要だからです。避難してきた人々には本当に何もなくて、ただただ支援を待つことしか出来ない状況に生きる気力をなくしてしまうことも多いのです。ラジオ一つでも人々を勇気付けることが出来ます。セントルシアなりに出来ることを模索する中で歌と音楽による支援（心のケア）という案が出てきました。

### ●ジャズフェスティバルが行われる国

セントルシアでは、毎年国家行事としてジャズフェスティバルが行われます。このときばかりは世界中から人々が集まります。ジャズはもともと黒人霊歌からでてきたものですし、被災者の慰霊の意味も込めて、被災者を励ます歌と音楽による支援を行うという提案をすることにしました。

この提案は大変好評で、「国の予算に組み込むように提案をする」と首相が約束して下さいました。これも公安大臣にお会いしてお話したところ、首相に直接お会いできるように取り計らって下さったおかげです。

### ●応援歌を作曲

一緒に行ったボランティアの学生が音楽に関心があり、作曲が出来るということで、“SKY”という空をテーマにした応援のための歌を作ってくれました。さっそくF.A.I.T.H(※1)の応援もあって、現地のボランティア団体でこの歌を紹介しました。すぐにパトア語に翻訳もして頂きました。被災者の皆様の希望になることを願っています。

(※1) F.A.I.T.H 法務省傘下の犯罪防止委員会。地域のボランティア団体と協力し、教育や犯罪防止といった活動に取り組んでいる団体。昨年は学校の先生方に青少年育成の為にセミナーを行うことで協力。

作曲してくれた  
学生ボランティア

現地のボランティア  
リーダー



スタッフでミーティング



キング首相と公安大臣



F. A. I. T. Hにて

## ハイチ大地震被害の状況

1月12日、ハイチで起こった地震は、死者約23万人、人口の約1/3にあたる300万人が被災したとも推計される大きな被害をもたらした。首都ポルトープランス近郊では120万人以上が屋外での避難生活を余儀なくされている。手製の粗末なテントで生活する人々は雨期をひかえて住宅のない厳しさを訴えている。その上森林の乱伐された国土は水害に弱く、二次災害の危険性も指摘される。しかし、被災地の広範さ、倒壊した建物の多さから復興は困難な状況にある。長年の政情不安定により建物の安全性に対する不備(手抜き工事の蔓延)も被害を大きくしたようだ。ライフフォーラムジャパンに於いてもできる限り支援活動をしていきたい。



布製のテントが立ち並ぶ避難場所



手作業で続く  
救出作業

年末チャリティーイベント

「マザー・テレサとその世界」上映会&ボランティア報告会

2009年12月26日

会場：sakura cafe

今年もクリスマスの時期にマザー・テレサの映画上映と、当団体の活動報告会を行いました。参加者は30名ほど集まり、マザーの言葉に感動した、最底辺の人間（カルカッタのスラム街）の姿にびっくりしたなどの声が聞かれました。

スライドショーでこれまでの活動を紹介し関心を持ってもらい、今後のヴィジョンを伝えることもできました。しかし、スタッフが準備不足でコミュニケーションを増やす必要があったそうです。

また、クリスマスのイベントでもあったので、シャンソンやマリンバの演奏を披露していただいたり、プレゼント交換や食事会も行いました。チャリティーイベントということで会場の sakura cafe からご支援頂きました。

ご協力ありがとうございました。



↑上映会後

↓当時のインド・カルカッタ



延寿会にて

2009年11月4日

以前「地球に愛をこめて」を開催した際に応援のメッセージを頂いたご縁もあって、延寿会に参席させて頂きました。天台宗の高僧の方々が集まる会です。当団体の理事を務める山崎圓快先生のご紹介によるものです。核兵器全廃の活動を紹介し、応援していただけるようにとお願いしました。



左 渡辺恵心さま  
天台宗名誉座主  
右 山崎圓快氏  
当団体理事

(本年1月、山崎理事が逝去なさいました。  
心よりお悔やみ申し上げます。)

音楽と心のハーモニーコンサート

お知らせ

昨年で14回となった『音楽と心のハーモニーコンサート』でしたが、主宰者の高橋恵美子さんがお亡くなりになったため、今後の開催は未定です。高橋さんはトヨタともご縁のある方で、少しでも世の中のお役に立てばと収益を寄付しておられました。別の形になってもボランティアの活動は続けていきたいものです。



地球に愛をこめて

～海洋博覧会視察～  
2009年10月14日

<韓国> 海洋万博視察

2012年の海洋博覧会開催地になっている麗水(韓国)を訪ねました。今回はソウルにある組織委員会の事務局と麗水の事務所を訪ねてお話を伺ってきました。2005年の愛・地球博から引き継いで、環境問題、核兵器全廃といった平和のメッセージを発信する活動を行う予定です。



麗水事務所



ソウルの組織委員会



EXPO2012 YEOSU KORIA 麗水国際博覧会

海は生命の宝庫であり資源の宝庫です。海洋の保全と開発は地球の未来を左右することでしょう。麗水万博は「生きている海と海岸」～資源の多様性と持続可能な活動～をテーマとして開催されます。ロゴマークは生物・環境・水をイメージしたものです。

# あなたもちょっとボランティアしてみませんか



気付いたときに募金していただけます。

募金箱には、アクリルボードで作成したもの（店舗用）とペットボトルをリサイクルしたもの（主にご自宅用）の、2種類があります。募金は随時必要なところへ支援させて頂きます。



- ハイチ大地震支援
- セントルシア支援  
青少年健全育成のための支援
- カンボジア支援  
井戸掘り基金  
学生リーダー育成  
モデル村開発etc.

## 地球に愛をこめて Life forum Volunteer Charity

草の根運動から大きな夢の実現に向けて

### NPO法人ライフフォーラムジャパン

この法人はボランティアの実践活動を通じて、市民にボランティア精神を啓蒙し、国内外のボランティア団体に協力と支援をし、さらに、健康な地球環境保全のために必要な研究開発を通じ、地域社会への貢献と世界平和の為に活動する。（定款抜粋）

LFJ事務局 〒465-0084 名古屋市名東区西里町1-14 西里パークマンション103号

LFJ万博推進センター 〒460-0006 名古屋市中区葵1-27-3 染木第二ビル401号

電話 052-705-1553 FAX 052-705-1554

ホームページ <http://www5e.biglobe.ne.jp/~lfj/>

E-mail [lifeforum@mte.biglobe.ne.jp](mailto:lifeforum@mte.biglobe.ne.jp)

郵便振替 口座番号00880-3-55649号

加入者名 特定非営利活動法人ライフフォーラムジャパン

※御支援のお振込の際には、通信欄余白に、御意見・御要望などをお書き添え頂ければ幸いです。

### 地球に愛をこめて

核兵器全廃条約の国連上程に向けて・・・



日ロ合作映画  
イコン伝説(1991年)



2000年国連  
ミレニアムサミット  
宗教者精神指導者会議

同代表者会議  
(2002年タイ)

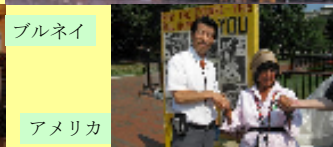


ブルネイ



インド

2005年愛・地球博  
パートナーシップ事業  
地球に愛をこめて



アメリカ



カンボジア

1992年 日露合作映画『イコン伝説』公開(ソ連崩壊に伴う核兵器の拡散を防ぐ為、キリストの精神の復興の願いをこめて) 1998年 インドの核実験に抗議に！ 2000年 国連ミレニアムサミット参加(宗教者と科学者の合同会議を呼びかける) ハノーバー万博(同会議の呼びかけ) 2002年 ミレニアムサミット代表者会議参加 2004年 インド訪問(大統領から万博でのイベント開催に向けて、宗教の和解・科学技術の平和利用といったメッセージを戴く) 2005年 愛知博覧会にて万博パートナーシップ事業『地球に愛をこめて』開催(上記合同会議を環境問題というテーマで開催していく事を再提案) 2006年 WCRPにて核兵器全廃条約上程運動を素案の形で参加者に提案 2008年 インドでヒンズー教の指導者アショク・シンガル氏に賛同のサインを戴く ブルネイ王国初代首相ペンギラン・ヨソフ殿下に賛同のサインを戴く アメリカでホワイトハウス前で20数年間核兵器廃絶を訴えてきたコンセプション・ピシオットさんに賛同のサインを戴く カンボジアにて国連の「国際平和の日の集い」に参加し核兵器全廃条約の国連上程に向けての活動を紹介 2009年 セントルシアでもこのメッセージを伝える